

市長定例記者会見資料



令和3年9月21日	
所 属	道路整備担当
所属長	三方 清司
電 話	06-6489-6493

阪急塚口駅南駅前広場の利活用に関する社会実験を実施 ～ 使いながら考える心地よい駅前空間 ～

尼崎市では、阪急塚口駅南駅前広場の改良を予定しています。

改良に当たっては、駅前の空間が、居心地がよく歩きたくなるように、整備後の利活用を見据え、使いたくなる駅前広場となるように、計画していきます。

そこで、利用者の方に自由な時間を過ごしていただくため、次の通り社会実験を実施します。



改良後の阪急塚口駅南駅前広場のイメージパース

1 実験の概要

9月26日(日)実施予定の作業ワークショップで作成した什器を使い、駅前広場を自由に試してみたり、過ごしてみたりする機会を設けます。

同実験期間中には、アンケート調査や聞き取り調査を通じて効果測定を実施して公共空間の新しい価値を市民の皆様と共に創出し、道路空間を車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場への整備につなげていきます※。

※“WE DO”～Walkable、Eyelevel、Diversity、Open をキーワードとするまちづくりの方向性(別紙参照)

日時：10月8日～10日、午前11時～午後7時
(10日(日)は午後5時まで)

場所：阪急塚口駅南駅前広場 ロータリー前
(10日(日)はスカイコム広場でも実施します)

内容：①滞留空間の整備

- 自由に使えるイス・テーブル・ソファの設置
- 緑の潤い要素として人工芝を設置
- 利便性を高めるWi-Fiの設置
- プチ広場(3m四方の芝生スペース)の設置(要申込)

②滞留空間の居心地を高める環境づくり

- 市内飲食店のキッチンカーによる出店



2 プチ広場の利用者募集(1組2時間まで)

駅前広場で自由な使い方ができるスペースのプチ広場を利用する市内団体や事業者、個人などを募集しています。ただし、火気の使用はできません。

申し込み：10月7日までに電話かEメール、ファクス(住所、氏名、年齢、連絡先、利用の希望日時・内容・人数、火気不利用の同意を書いて)で道路整備担当へ応募してください。利用枠が埋まり次第終了します。

応募先：道路整備担当 電話番号 06-6489-6493 FAX番号 06-6488-8883
Eメールアドレス ama-douroseibi@city.amagasaki.hyogo.jp

以上

居心地よく歩きたくなる駅前空間創出事業

1 背景

○公共空間の利用に関する全国的な動向

快適性・心地良さを追及した空間を創造することによりエリアの価値向上を図り、ブランディングや地域再生を目指す「人中心の都市空間」づくりが全国で進んでいる。

駅前広場は、多くの人が利用するまちの顔として、各都市で自動車が中心の駅前広場から人が中心の駅前広場への改変が進められている。



○全国的な事例

【姫路市】

（駅前広場の改変）

- ・トランジットモール化（一般車両の通行禁止）による歩道拡幅
⇒ 歩行者空間 26%→61%
- ・市主催の「市民ワークショップ」により、市民の意見を集約し、整備計画を立案



【神戸市】

（公共空間の利活用）

- ・道路管理者が、三ノ宮駅周辺道路のリデザインの一環として、憩いや賑わい機能の創出の新たな取組として、地域との協働で社会実験を実施。



○国による施策支援

居心地が良く歩きたくなるまちなか

Walkable	歩きたくなる	居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたくなる、歩きたくなる。
Eye level	まちに開かれた1階	歩行者目線の1階部分等に店舗やラベがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる。
Diversity	多様な人の多様な用途、使い方	多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。
Open	開かれた空間が心地良い	歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たくなる、留まりたくなる。

1階をガラス張りの店舗にリノベーション、アウトディートを可視化
民間敷地の一部を広場化 (高崎県日南市)





二つの開発の調整により
一体整備された神社と森 (東京都中央区)



駅前トララットモール化と広場創出 (兵庫県姫路市)



道路を占用了な夜間オープンカフェ (福岡県北九州市)



公園で芝生や民間力での設置で再生 (東京都豊島区)



官民の連携により「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を実現

予算・税制等のパッケージ支援により、公共空間の拡大・改変・利活用を推進

官
街路等の公共空間の改変
[予算支援]

民
オープンスペースの提供・新活用
[予算・税制・金融支援]



民地部分を開放 (広場化)
[税制] 固定資産税を5年割
上/2に軽減 等



建物低層部を開放・リノベーション (ガラス張りの化等)
[税制] 固定資産税を5年割1/2に軽減 等



公共空間の利活用促進
[税制] 都市再生推進法人向けに税制優待 等



官民連携による未来ビジョンの策定
[予算] 未来ビジョンの策定や
20/27プラットフォーム
の構築を支援 等



滞在環境の向上のための歩行者滞在空間への改変 (街路の広場化等)
[予算] 「ウォーブル」を交差整備し(滞在環境の向上に
関する事業を補助) 等



(参考) 官民連携のモデル事例

(品川区 天主堂アイル)
○行政が整備した護岸と連続する民地上に、地産者が一体的な仕様のウッドデッキを設置。
○デッキに面する建物1階部分をオープン化 (ガラス張りにし、景観を事務所から誰もが
利用できるスペースに転換。



(松山市 花屋町通り)
○片側3車線あった道路を片側1車線に減らし、歩行者空間を拡大するとともに、沿道施設と
一体となった整備及び利活用等を行うことで、歩行者空間をウォーカブルな空間へと再構築。



○現状と課題

阪急塚口駅南駅前広場は、市街地再開発事業により、昭和 53 年に大規模商業・業務施設と都市型住宅の複合施設である塚口さんさんタウンと同時に整備された駅前広場であり、公共施設の老朽化や自転車と歩行者の輻輳による危険性などが課題となっている。

○整備の方針

前述の背景を踏まえ、改良にあたっては、「居心地がよく歩きたくなる駅前空間」となるように、整備後の利活用を見据え、市民や事業者等が使いたくなるような駅前広場となるようにする。

○公共空間の整備と利用のプロセス

①実験的な取組を通じてユーザーのインサイト（潜在的なニーズ）を引き出す

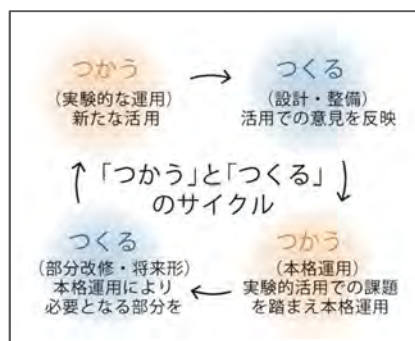
アンケート等の意向調査だけでは、実際には利用しない人がイメージだけで回答したり、想像と現実との乖離が大きかったりと、利用者が求める本当のニーズをとらえることが困難であるため、実験的な取組を通じて、実際に使ってみることによって課題や可能性を把握する方法を取り入れる。

②「育ての担い手」として、多様な人の参画を促す

できた時点が完成ではなく、利用することによって空間を「育てる」感覚をもつことが大切であるため、育てる担い手となる人を幅広く、増やしていくようにする。

③使い方の検証と担い手の育成をしつつ、段階的に空間を改善する

実際に使ってみることや空間を利活用するための担い手を育てていくことと、空間の整備とを切り離さず、一体のものと考え、これを具体化することを念頭に整備のプロセスを考えていく。



出典：都心の未来デザインブック（豊田市）

○将来イメージパース

①旧 3 番館前広場



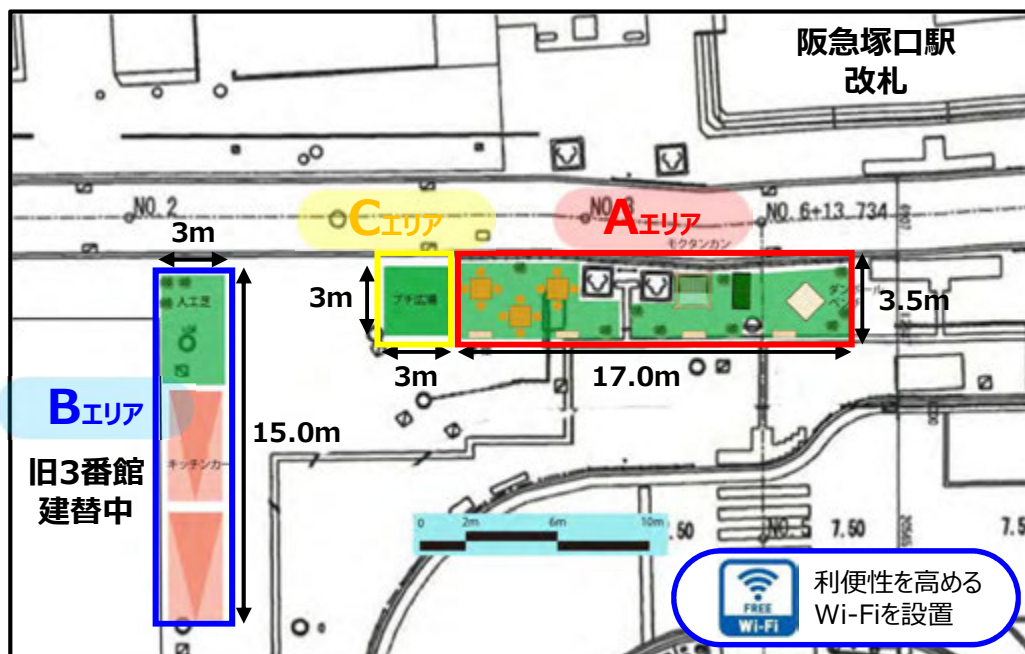
② 1 番館北側



以上

阪急塚口駅前広場社会実験（駅前広場） 10/8（金）～10/10（日）

配置計画



滞留空間の居心地を高めるためのフードトラック（キッチンカー）による出店



- ・自由多幸寿 -libre-さん（市内を中心に活動）
- ・jack's pizza and burgersさん（南塚口町2丁目）
⇒現在、調整中

Aエリア

駅前広場を通りかかった人が、ちょっとくつろぐことのできる滞留空間を創出

- ・緑の潤いとしての芝生
- ・日よけ付きのイス、テーブル



- ・強化ダンボールベンチ（丸一興業製：市内企業）



9/26（日）開催予定の作業ワークショップによりダンボールベンチを装飾（園田学園女子大学の学生を含む20名が参加予定）

Cエリア

地域の団体、事業者又は個人の方々による自由な使い方ができるスペース（プチ広場）を用意 ※要申込



会場の一角に3m×3mの人工芝のスペースを用意

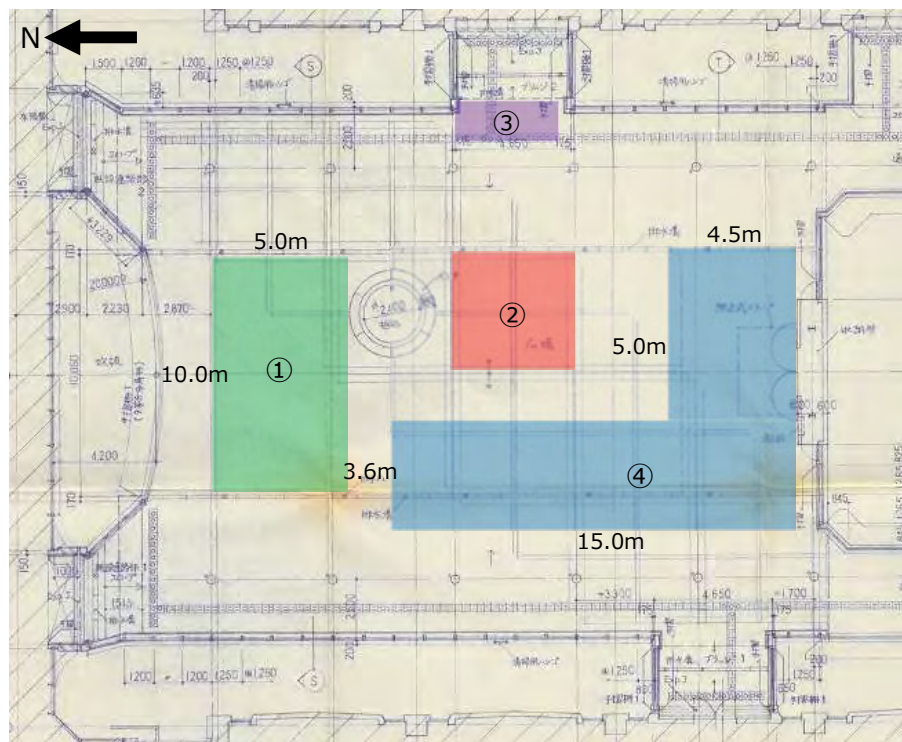
（応募内容）9/6募集開始済み

- ・阪急電鉄のプラレールで遊ぶ（親子連れ）
- ・自分たちの活動の広報がしたい（NPO）
- ・フォトブースの設置（塚口周辺事業者）

など
（※9/15時点）

阪急塚口駅前広場社会実験（スカイコム広場） 10/10（日）

実施平面図



①人工芝エリア（設置：エリアマネジメント推進会議 推進チーム）

- 人工芝（50㎡）を設置する。
- 人工芝内に強化ダンボール製の子供用イスを作りながら設置
- 人工芝を囲うように既存ベンチを配置

②カフェテリアエリア（設置：エリアマネジメント推進会議 推進チーム）

- 強化ダンボール製のテーブルセット2セットを設置する



ミルダンテーブルセット（丸一興業製）

③コミュニティーボードエリア（設置：エリアマネジメント推進会議 推進チーム）

- 工事用の万能堀に、黒板マグネットシートを設置し、「まちなかでしたいこと」を付箋や写真を使って表現してもらう。



松山市の社会実験時のコミュニティーボード
（参考：銀天商店街）



付箋やパンを置く屋台
（TFメンバー持参）

④スケボーエリア（設置：ユース交流センター）

- ユース交流センターで作成した、可動式ランページ、ベニヤ板等でスケボーエリアをつくる。
- 利用者へのルールおよび利用調整等はユース交流センターで実施。
- キッズ用スケボー体験教室（午前）、フリー（午後）を予定。



ユース自作のランページ

■ 効果測定

- アンケート調査（駅前広場と共通）
- 聞き取り調査（満足度等）：笹尾氏と共同で実施予定
- ①②の整備による滞留時間の変化を確認する。

■ その他

当日の状況を記録するため、動画や写真（チエキなど）を撮影し、今後の広報に使用する。

阪急塚口駅南駅前広場の
新しい使い方を考える社会実験を行います

使いながら 考える心地よい 駅前空間



人工芝やイス・テーブル、ソファなど
どなたでも自由に使える空間です。
あなたの好きな時間を見つけてみてください。

令和3年10月8日(金) ~ 10日(日)

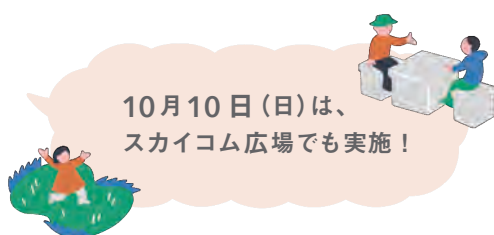
11:00 ~ 19:00 (最終日は17:00で終了)

場所 阪急塚口駅南駅前広場 ロータリー前

尼崎市では、「居心地がよく歩きたくなる駅前空間」を目指して、阪急塚口駅南駅前広場の改良を予定しています。過ごしやすく、使いたくなる駅前広場の実現のため、利用者の方に自由な時間を過ごしていただく社会実験を行います。あなたも新しい使い方を体験してみませんか？



10月10日(日)は、
スカイコム広場でも実施！



※ Wifiが使えます。
※ 時間帯によってキッチンカーも営業します。
※ ごみはお持ち帰りください。

プチ広場の利用者大募集！

会場の一角に3m×3mの小さな芝生広場をつくり
ます。あなたの好きな使い方にチャレンジしてみ
ませんか？予約もできます。申し込みは下記まで。

お問い合わせ先

尼崎市都市整備局土木部道路整備担当

電話：06-6489-6493

FAX：06-6488-8883

Email：ama-douroseibi@city.amagasaki.hyogo.jp

- ・雨天の場合、予告なしに中止されることがあります。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、マスクを着用の上ご参加ください。また、感染状況によっては、変更・中止する場合があります。
- ・熱があるなど、体調のすぐれない方の参加はご遠慮ください。